

秋田屋本店

新社長に中村浩氏

源次郎氏は代表権ある会長



養蜂・食品製造の秋田屋本店（岐阜市加納富士町）は、中村源次郎社長（70）が代表権のある会長に就き、後任に中村浩康副社長（40）＝写真＝が就任するトップ人事を決めた。源次郎氏が

70歳を迎えたのを機に、長男の浩康氏に世代交代する。18日付。関連会社の日本養蜂と秋田屋フーズも、同様のトップ人事を行う。浩康氏は駒澤大学法学部卒。森永製菓での勤務を経て、2012年に秋田屋本店入社。常務、専務を歴任

し、18年9月から副社長。通販事業の売り上げ拡大を進めたほか、新商品の開発、自社製品のブランディングに注力してきた。源次郎氏は1974年に

入社し、医薬品製造の日本養蜂を76年に設立。89年にチアパック（ストロー付アルミソフト容器）事業を始めたほか、98年の社長就任後は洞戸工場や本巢屋井工場といった拠点を次々に立ち上げ、業績を拡大した。会長就任後は経営の第一線からは退くが、全日本はちみつ協同組合副理事長、県製薬協会会長、県養蜂組合連合会長などの要職は引き続き務める。